

「ケータイでP i !」実証実験を始めます

～IC学生証の代わりに「フェリカICチップ搭載携帯電話」で試験運用～

札幌大学 キャンパスICカードプロジェクト

本学では、4月より非接触形ICチップ「フェリカ^{*}」を搭載した学生証に切り替え、「IC出欠確認システム」の運用を開始しました。このシステムはIC学生証を教室に設置したカードリーダーにかざすと自動的に出欠の情報が蓄積されます。この情報は総合学生支援システム「アイトス」に蓄積され、学生は個人ポータルから自分の授業での出欠確認を、また、教員も学生の出欠把握が迅速にできます。これは迅速な修学指導・就職指導に活かすことができます。



【IC学生証による出席登録】

今後はIC学生証を活用した学生サービスの発展形として、学食、学内自動販売機や証明書自動発行機のキャッシュレス化・電子マネーの導入も検討しています。「IC出欠確認システム」の約半年間の運用から学生証ICチップの破損など技術・運用上改善すべき問題も明らかになってきました。IC学生証よりも耐久性が高いもの、学生の携行意識の高いもの、貸し借りのないもの、という観点から「携帯電話」による運用の可能性を検討することにしました。そこで、おサイフケータイ^{*}(フェリカICチップ搭載携帯電話)による「IC出欠確認システム」の試験運用を開始します。これは、現在のIC学生証の代わりに「おサイフケータイ」を利用して、授業の出欠確認をおこなうもので、学生からモニターを募集して今後の携帯電話による運用の可能性、問題点を探ることを目的として実施します。モニター期間は2005年11月18日～2006年3月31日までを予定しており、既にフェリカICチップ搭載携帯電話を使用している本学学生を対象に実施します。



【携帯電話による出席登録】

*FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
*「おサイフケータイ」はNTTドコモの登録商標です。

【総合学生支援システム「アイトス」について】

学生一人ひとりにポータルサイトを開設し、インターネットに接続できる大学内外のパソコンから、学生の個人へのお知らせや授業の履修状況、成績状況、休講情報から求人情報まで、学生生活で必要になる、さまざまな情報を一元的に提供するシステムです。ここで提供される情報は教職員も共有でき、学生と教職員のより深いコミュニケーションを実現することができ、学生のキャンパスライフを強力にサポートします。このシステムは今年の4月から運用を開始しました。